

雪国の風物詩

白ひげ様とおこうに会えた

アメッコ市



▲毎年、千支の飴に人気が集まります。

400年の歴史を持つ大館の伝統行事「アメッコ市」が、今年は「第2回まごころ秋田雪まつり」と併せて今月10日から3日間開かれました。初日は桂城公園を中心に県内の珍しい行事や昔の遊び、雪像コンクールなどが行われ、みぞれまじりの空模様にもかかわらず、子供連れなど多くの市民でにぎわいました。また、アメ市の立った11、12の両日は、大町の歩行者天国会場を中心に、アメを買い求めたり、白ひげ、おこうなどを一目見ようという人たちで終日大盛況でした。

アメッコ市は大館地方の小正月行事として最大のもので、「ミズキの枝に飾られたアメを食べると一年中風邪をひかない」とわれ、又一昨年から登場した「アメッコおこう」が新しい人気キャラクターとなっています。



▲神秘的な氷の神殿にも多くの人が手を合えました。



▲かわいい「おこう」には市内の小学生、小林香奈子ちゃんや早福恵美子ちゃんらが紛しました。



▲夜空を衝く炎が一年の厄払いをします。うどんと焼きい



▲萩野台の子供たちの勇壮な和太鼓演奏です。



▲角館の火振かまくらも登場～まごころ秋田雪まつり～



▲雪上カルタ大会～童っ子の雪まつり～